



# 第4次芦屋市男女共同参画行動計画 ウィザス・プラン 完成しました



## 社会・地域・家庭

### ☆男女共同参画社会を実現するために☆

男女共同参画の考え方が、子どもからお年寄りまで幅広い世代にいきわたり、浸透するように、それぞれの世代に効果的な方法で「意識づくり」に取り組みます。例えば、分かりやすい広報や親しみやすい啓発事業、関連講座を充実させるなどです。また社会・地域・家庭など様々な場面で、一人ひとりがその人らしく活躍できるよう、支援や情報提供をするなど「仕組みづくり」も進めます。

## 防災

### ☆「防災」を意識しています☆

阪神・淡路大震災の経験を忘れず、その教訓を生かすために、防災意識を高め、災害時に助け合える体制づくりを男女共同参画の目線で進めていきます。

#### < 災害時の取組 >

「洋服を着替えにくい」「赤ちゃんの授乳場所がない」「生理用品を受け取れない！」…。これまで避難所では、女性の意見の反映が充分でなかったため、困ったことがありました。芦屋市地域防災計画（防災安全課）には、女性の視点も取り入れた避難所運営についても盛り込まれています。具体的には、女性専用の物干し場や、更衣室や授乳場所の確保、生理用品や女性用下着などの備品配布を女性が行う、トイレや安全確保への配慮、女性が相談できる場づくりなどです。

【土曜日開催 平成30年2月17日】  
「パパのバエリアを家族で食べよう」講座風景



## その他 ①

### ☆土曜・日曜に男女共同参画に興味を持っていただける講座を開催☆

多くの人に参加しやすくなる工夫として、平日だけでなく、土曜・日曜開催イベントやセミナーの開催を行っています。

## その他 ②

### ☆女性のリーダー等を育成☆

自治会等は、女性の会長職が少ない現状があります。今後、リーダー育成の講座や啓発を行い、性別に関係なく、多様な市民が男女共同参画を推進する「リーダー」となるような育成講座も実施します。

## 数値目標を設定

### ☆未来に向かうための数値目標☆

第4次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザス・プランが完成し、男女共同参画社会の実現に向けた数値目標が示されました。この芦屋市男女共同参画センター通信「ウィザス」の認知度については、21.0%（平成28年度）から40%以上（平成34年度）を目標としています。また「ワーク・ライフ・バランス」ということばの認知度についても、27.8%（平成28年度）から70%以上（平成34年度）に上げようとしています。

#### 固いイメージの「計画書」

できるだけ多くの人に読んでほしいとイラストを入れたり、キャッチフレーズをつけるなど、手にとっていただきやすい工夫もしています。

#### ちょっと注目!!

第4次ウィザス・プランの冊子に掲載されているイラストは、芦屋の風景が描かれています。このウィザス紙面にも3枚のイラストがありますよ。芦屋のどの場所かおわかりでしょうか!?

答えは右頁下にあります。

今年3月に、「第4次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザス・プラン（第2次芦屋市女性活躍推進計画を含む）」及び「第2次芦屋市配偶者等からの暴力対策基本計画」が出来上がりました。この計画は芦屋市男女共同参画推進条例をもとに、「男女共同参画社会」の実現に取り組むため策定されました。その策定過程では市民意識調査やワークショップ等を通じて、市民の方々の意見も反映されています。

第4次ウィザス・プランの特色をご紹介します。



## 女性の活躍

### 第2次芦屋市女性活躍推進計画 （ウィザス・プラン基本目標5・6）

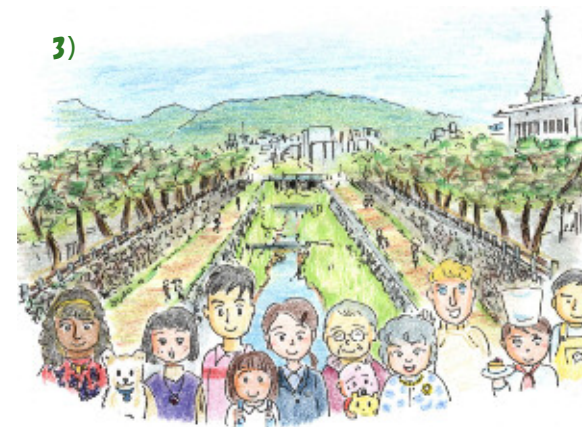
女性が様々な分野で活躍できる社会を実現するために、女性活躍推進計画を策定しています。平成29年度より「女性が輝くまち芦屋」プロジェクトとして、『ASHIYA RESUME（芦屋リジューム）』を開始し、女性が活躍するための支援を行っています。

芦屋のまちで  
自分らしさを大切にしながら  
毎日の暮らしに近い場所で  
もう一度働きたい、想いをかなえる

「芦屋リジューム」  
のサイトに入ります。

また、女性だけでなく男性の長時間労働を前提とした働き方、女性と男性の育児や家事などに関わる時間差、男性の育児休業取得率の低さなどの解消に向けた取り組みを行います。

性別に関わらず、誰もが多様な生き方を選択できる社会を目指します。



## DV対策

### 第2次芦屋市配偶者等からの暴力対策基本計画

芦屋市配偶者等からの暴力対策基本計画を策定し、取り組みを進めて7年が経過しました。平成23年11月に芦屋市DV相談室を設置しましたが、まだまだ認知度が低く、DV被害の主な相談先になっていません。今回の計画で、全世代へのDVの啓発を継続的に行うだけでなく、特に若い人たちへの啓発も行い、次世代にDVを残さない取り組みも行います。

関係機関と連携し、相談や自立支援などDV被害者支援に取り組んでいますが、新たな計画においても、継続してDV被害者の安全確認と自立支援を行います。

DVは人権侵害であり、決して許される行為ではありません。個人の尊厳を守り、あらゆる暴力を防止し、誰もが安心して暮らせる社会を築いていく必要があります。



### ☆ウィザスあしや 図書コーナー にあるこんな本☆

「パパはステキな男のおぼさん」  
石井睦美 文 あおき ひろえ 絵  
BL 出版



パパが家にいるのと、ママが家にいるのと、どっちがいいか、小学二年生のまりは授業参観の日からずっと考えています。まりのパパは家で家事をし、ママは会社に行っています。授業参観に来たパパのことを学校の帰り道に友だちに聞かれ、家で家事をしているというと、友だちに「まりちゃんのパパ、女みたい」と言われます。ちょうどその時、スーパーのビニール袋を持ったパパが通りかかり、友だちは「おぼさんみたい」と言ってくすくす笑いました。それを聞いたまりは……。

男だから会社に行って、女だから家で家事育児をする。それが当たり前なのでしょうか。

「男は（女は）こうあるべき」という性別役割分担意識に疑問を投げかけ、生き方はひとつではなく、さまざまな形があるということを教えてくれる作品です。

さいごに・・・  
知らないことから、なにも生まれません。何事も、まず知ることから始まるのではないのでしょうか。  
市民一人ひとりが芦屋市の施策を知り、行動し、市とともに魅力ある芦屋を作っていくことが大切です。